



学校だより
ながや

令和4年度 10月号
令和4年 9月30日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

次のフェスティバルに向かって

校長 平野 好子

先日、『なかよしフェスティバル』を行いました。本校では、令和元年度まで、この時期にたてわり活動として、全校遠足を行ってきました。10月半ばにスポーツフェスティバルを予定しているため、延期を判断した場合の予備日は、11月に設定せざるを得ず、活動への意識や意欲の継続に苦慮してきました。令和2年度は、コロナ禍で全校遠足は中止とし、令和3年度は、夏休み明けの分散登校・スポフェス延期等に伴い、11月に延期しました。しかし、当日は悪天候となり、雨バージョンの室内ポイントラリーとしました。コロナ禍でその時にできることを模索し続けてきました。

そして、天気は左右されずに実施できる形を探り、今年は、各グループで企画・運営されたミッションをラリー形式で楽しむ『なかよしフェスティバル』として取り組むこととしました。これは、永谷小学校の令和4年度4大フェスティバル（なかよしフェス（全校レク）、スポフェス（運動会）、ミュージックフェス（音楽発表会）、サンクスフェス（ありがとうの会））の中で最初のフェスティバルとなりました。

5月号でもお伝えした、子どもたちが考えた年間スローガン『ほりだせ自分カラット！ すすめ スペースシップ永谷号』を掲げ、今年を目指したい学校の姿「みんなで取り組み みんなで支え合うワンチームの学校」に向かって、現在1年間かけて進んでいる途中です。

今回の『なかよしフェスティバル』では、年間スローガンを受け、

～協力パワーで探し出せ！奪われたなかよしトパーズ～

をさらにサブスローガンとして掲げ、この日に向けて6年生中心にたてわりグループで6月から準備してきました。各グループで、全学年が協力して楽しめるようなミッションを考えました。

開会セレモニーでは、協力パワーを全校みんなで結集することで、奪われた「なかよしトパーズ」を光らせ取り戻すというミッションを確認し、2時間目から4時間目までを各グループで、協力パワーを集めるべく、ミッションに取り組みました。ルールを動画や掲示物で分かりやすいよう工夫し、伝えていました。ミッションを運営する側と、校舎内を移動しながら様々なミッションを楽しむ側のグループに分かれ、時間で交替しながら、協力してミッションラリーを楽しんでいました。各グループで集めた協力パワーのおかげで、奪われたなかよしトパーズを取り戻すことができました。

次は、スペースシップ永谷号は、全校児童の思いを乗せて『スポーツフェスティバル』に向かって進みます。

～団結パワーで取り戻せ、奪われたスポーツクラウンの輝き～

をサブスローガンとして一人ひとりが輝くよう、団結パワーを結集していきます。

人とかわりながら日々の学びを積み重ね、その学びを行事等の実践の場に活かしていくことが子どもたちを成長させていきます。「自ら学び 人とつながり 未来をつくる永谷の子」になってほしいと願い、日々の教育活動を大切にして取り組んでいきます。

今後も子どもたちの安心・安全を守り、豊かな学びにつながる学校教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をお願いします。